

## 新クリーンセンター・北エリア整備の考え方

### ●現在の北エリアの空間構成

北エリアとは、クリーンセンターと北側の公共施設（スポーツ施設、緑町コミセン、都市公園）全体の敷地であり、4方の道路に区画されたエリアである。

北エリアの北側約半分には様々な事業主体が混在し、土地利用の形態や法規制も異なり、管理運営状況も様々である。そして、現在の各施設の管理形態は公園以外すべて閉鎖的で、限られた人以外、それらの空間に入れない状況である。また、外周道路や各施設間に小さな高低差があり、（又は設けられ）地形的にも分節化された空間となっている。

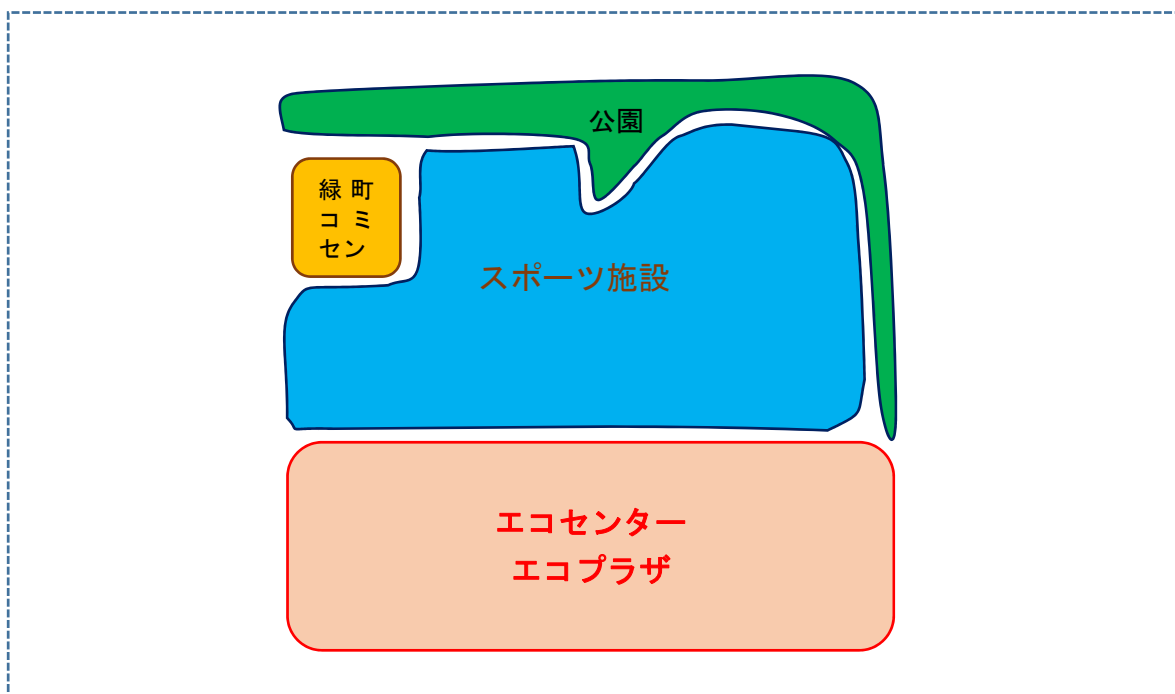
### ○本計画の目的

新クリーンセンターの計画では、（仮称）エコプラザを中心とした敷地西南側は、車両通路以外自由に出入りできる空間として整備される。そして（仮称）エコプラザ整備で事業者が提案したコンセプトは“武蔵野の雑木林”である。

新クリーンセンター建設に際しては、基本構想に一体的な整備が掲げられており、北エリア全体の空間のあり方は可能な限り開放的な空間とすることが望ましい。北エリア整備は、この考え方に沿って敷地全体を点検し、一体的な公共空間として改修することを目的とする。また、既存植栽の整備については、新クリーンセンターのコンセプトである“武蔵野の雑木林”を北エリアにも共通のコンセプトとして位置づけ、統一感のある空間となるよう配慮する。

### ●留意事項

本計画を進めるにあたり、土地利用上の法的制約や安全管理上の線引きは守る必要があるが、多様な市民の利用を第一として事業主体間の対応等を調整し、柔軟な運用を図るよう努力する。



# 北エリアの現状と課題

防火水槽のある入口  
 ・車止めがあり人・自転車とも入らない。

外周植栽・マテバシイの interval がせまい

北田から北エリアへのXイン入口  
 ・上り勾配で自転車は入りづらい  
 ※車道側を走ると途中で入らず  
 安心ない  
 ※出る自転車はスピードが出る

緑町3丁目のお祭広場  
 ・狭く、自転車の直行と交錯  
 ・柵の緑石が高い

緑町コッセテテニスコートの境界  
 ・高さ約40cmのコンクリート土留

テニスコートのXイン入口  
 ・ネット沿に駐輪場

スポーツ施設(野球場)のXイン入口  
 ・東(本館)側から道路横断あり

緑町3丁目から北エリアのXイン入口

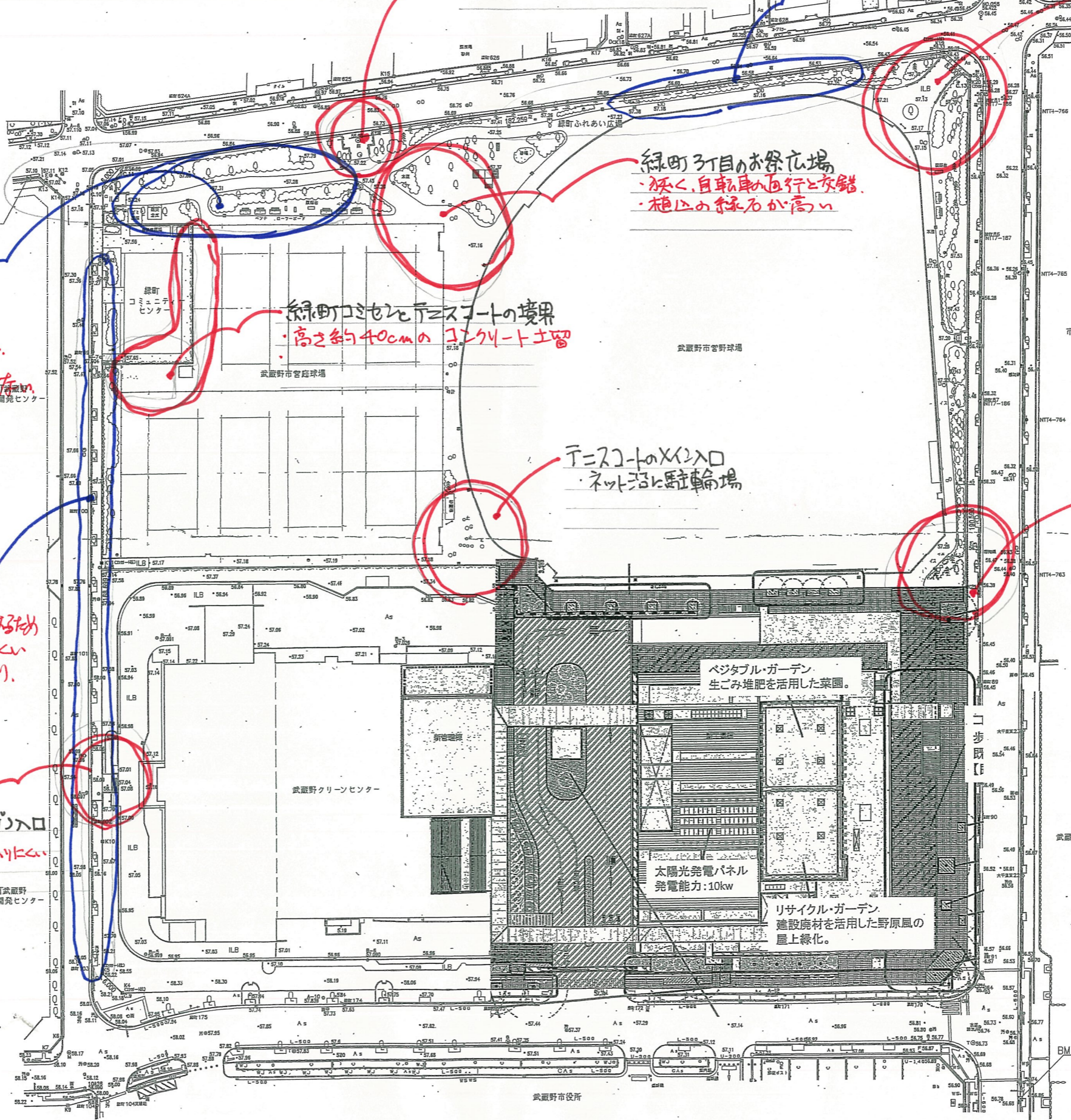
・NTT北側歩道から自転車が直進し、自転車交差点が増えた。  
 ・テニスコート側のベンチは使われていない  
 → 死角になり不守

北エリア西側歩道

・歩道がせまくサクラ並木が狭いため  
 歩行者と自転車がすれ違いにくい  
 ・北エリア西側にも高木があり、拡張しにくい

IBCC(エクスサ)入口

・急な階段7入りにくい  
 ・せまいスロープ



日建

2010-03-30

S=1/1000 (A3)

# 北エリアゾーニング案

北東エントランス  
 ・南側に歩道のない市道4号を安全に通行するために、入口の勾配をゆるくする。  
 ・園路沿の樹木を整理し、明るく彩りのある道にする。

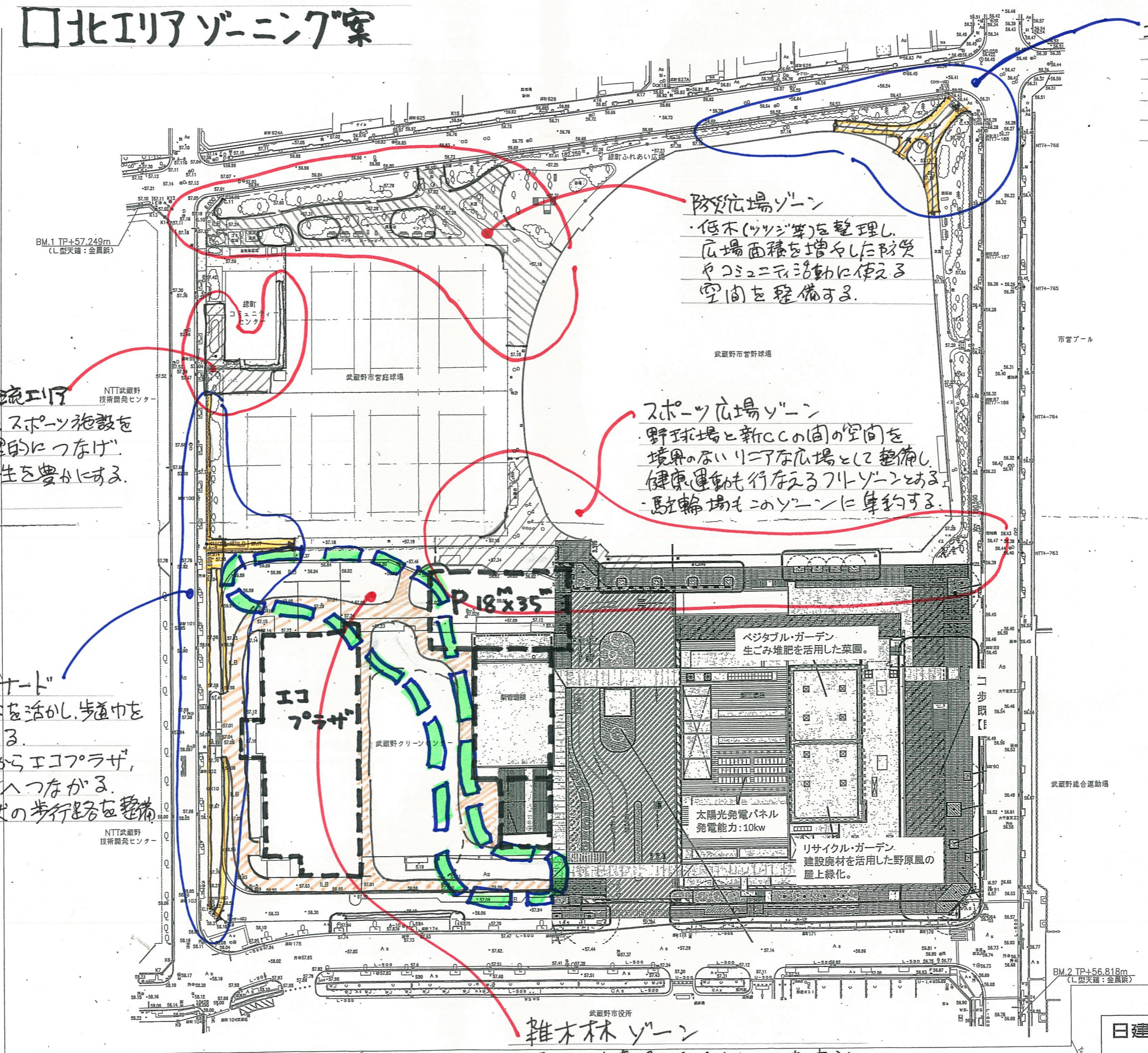
防災広場ゾーン  
 ・低木(ツツジ等)を整理し、広場面積を増やした防災やコミュニティ活動に使える空間を整備する。

スポーツ広場ゾーン  
 ・野球場と新CCの間の空間を境界のないリニアな広場として整備し、健康運動も行うためのゾーンとする。  
 ・馬車輪場もこのゾーンに集約する。

コミュニティ交流エリア  
 ・緑町コモンとスポーツ施設を視覚的・物理的につなげ、相互の空間性を豊かにする。

西側17mロード  
 ・北エリアの樹木を活かし、歩道巾を50cm拡げる。  
 ・緑町コモンからエコプラザ、パークタワーへつながる、ゆるやかな起伏の歩行路を整備

雑木林ゾーン  
 ・テニスコート南側の既存林から南東方向に武蔵野の雑木林を連続する。



日建

2010-03-30

1/1000